



6月定例会

一般質問



一般質問において、ウルシ林づくり、ワイン用ぶどうの試験研究所の設置他、多岐に渡り、質問しました。

ウルシ林づくり

【丸山】日本の伝統工芸である漆器製品や文化財修復に欠かせない漆は国産の生産量が減少し、価格面からも現在は95%を中国産に頼っている。日本では縄文時代から漆が使われているが、高度経済成長以降、石油科学の発展や生活スタイルの変化などから需要が減った。一方、日本産の漆の質は評価が高く、活用に向けウルシ林づくりが求められている。里山保全も含めウルシ林づくりは林業にも有益と考えるが県の支援はどうか。



千代 林務部長

木曽漆器工業協同組合を中心に、荒廃林地等を活用したウルシ林の整備を進め、これまでに100本を超えるウルシ林を造成。植栽から概ね10年

ウルシ林づくりの推進 マイクロプラスチック対策



漆器店に展示されたウルシ掻き後のウルシの木

12年が経過し、現在では、漆を採取できる時期になりつつある。県はこれまで、保育作業等を対象に、(県)林業総合センターの知見を生かした技術指導を行ってきた。里山保全や地域活性化にもつながる重要な取組であり、関係団体のニーズに応じて、木曽谷、伊那谷、フォレストバレーの枠組みも活用し支援する。木曽漆器の魅力発信により地域内外の関心を高め、ウルシ林づくりの取組拡大に向けた機運醸成を図っていく。

マイクロプラスチック対策

【丸山】世界的にマイクロプラスチック問題が深刻化している中で、海に流れ込む河川の上流域に位置する長野県も、発生源対策としての責任が問われている。特に、日常生活における製品選択がマイクロプラスチックの発生に大きく関わることから、消費者に対して環境に配慮した製品選択を促す必要がある。一例を挙げれば、漆製品は木と漆といった天然素材で、身体にも安全であり修繕して使い続けられるなど環境にも負荷をかけないものもある。環境を守るための県の施策について伺う。



小林 環境部長

令和2年度から、河川におけるマイクロプラスチック実態調査を実施しており、本年度からは、経年変化を観測できるよう、信濃川水系と天竜川水系の市街地周辺の3地点で定点調査を行い、実態把握を開始しようとしているところ。また、プラスチック製品全体の削減に向け「信州プラスチックスマート運動」として、不要な製品を受け取らない「選択」、レジ袋やペットボトルの使用からマイバッグやマイボトルの使用などへの「転換」、使用済み製品の「回収」という、「3つの意識した行動」を呼びかけるとともに、県政出前講座や子どもたちへの環境学習などを併せて進めている。引き続き、河川の上流域に位置する県として、マイクロプラスチックの発生抑制に向けた施策を行っていく。



ワイン用ぶどうの試験研究所の設置 特色ある県立高校の環境づくり

ワイン用ぶどうの生産維持支援について

【丸山】長野県でも高温化でワイン用ぶどう栽培が厳しさを増す中、生産維持をどう支持していくか。



根橋 農政部長

高温下においても品質を維持し、適期に収穫できるよう、栽培管理技術の確立に向けた試験研究を進めている。果樹試験場において気象条件や品質に関するデータを継続的に収集・分析し、温暖化に伴い増加する病害虫への対策に取り組みとともに、ワイン用ぶどうの土壌条件と品質との関連性の検証を進めている。さらに、工業技術総合センターと連携し、糖度や酸度を基に収穫適期を予測するシステムの開発にも取り組んでいる。

ワイン用ぶどうの試験研究所の設置は

【丸山】地球温暖化は世界



阿部知事

のワイン業界に大きな影響を与えており、日本国内でも赤ワイン用ぶどうの色づきの悪さや、白ワイン用ぶどうの酸の減少など深刻な状況を聞く。長野県においても標高差等の土地で工夫をしているが、厳しい状況である。気候変動の中で暑さに強い品種の開発・改良などを行う県立のワイン用ぶどう研究所の設置を検討すべきと思うがどうか。

【丸山】総合学科である県立塩尻志学館高校は、ぶどう栽培やワイン醸造を生徒が学びの二環として行っている。全国的にも珍しい特色を持った高校であるが、ワイン醸造施設は老朽化が著しい状況。特色ある高校の学習環境整備を進めることが重要である。

特色ある県立高校の学習環境整備と農業高校の特色化を

県の試験研究機関のあり方については、トータルで見直しをする方向で検討を進めており、「長野県公設試験研究機関未来ビジョン」を策定の予定である。長野県の強みや特性を、しっかり伸ばしていけるような機関で、研究体制を構築していくことが重要であると考えている。

ることが将来につながる学びになり重要と思うがどうか。
県内の農業高校において野菜や花き等を栽培し販売しているが、売上額の把握だけでなく、材料費や光熱費も把握することで、生産体験のみならず経営感覚の学習にもつながり、農業高校ならではの特色になると思うがどうか。



武田教育長

塩尻志学館高校は、戦時中から果実酒の製造免許を持ち、地域資源を活用した特色ある教育活動を展開している。
ワイン醸造に必要な施設整備については現在、高校空調整備事業において、ワイン醸造実習室やワイン貯蔵庫へのエアコン設置に向けて進めている。さらに老朽化した設備備品及び農業噴霧器や、圧搾機等の更新・修繕など、計画的に対応していく。

農業高校の特色化については、流通や販売等について、「農業経営」の授業を通して学んでいる。農業の法人化が進展する中、経営感覚に優れた農業従事者の育成は、本県農業の将来にとって重要である。農業を「稼げる産業」として捉えることができるよう、学びの充実に取り組んでいく。



下記のQRコードから
一般質問をご視聴できます。



人口減少社会に対応した 街づくりについて

「地域の教科書」 策定支援

【丸山】 県が各地域へ取組を呼び掛ける「地域の教科書」は、地域住民と移住者を結ぶ架け橋となり、人口減少社会においては良い施策である。各地域で活用ができるよう県としてどう支援をするか。



中村 企画振興部長

「地域の教科書」は、地域で当たり前となつていふことを整理し、分かりやすく見える化するものであり、移住者と地域住民、また住民同士の相互理解を促進する。また、地域の慣習やルールを見直す契機となる効果もある。策定のためのひな形と手引きの周知を図るとともに、元気づくり支援金で財政面での支援も行う。

地域の伝統行事 存続支援

【丸山】 地域の祭りや伝統行事の存続には、若い世代や女性の参画が必要と思うが存続に向けて県の支援はどうか。



小池 県民文化部長

令和8年1月に、「伝承文化の継承と地域コミュニティの現状を共有するシンポジウム」を開催し、担い手確保に向けた事例報告や意見交換を行った。

今年度は地域で実際に活動している人の声を聞き、伝統行事を取り巻く現状や課題を調査し、地域の若い世代や女性参画の事例、地域外の人や企業・団体など多様な事例を掘り起こし、支援策を検討していく。

地域における固定的性別 役割分担意識の解消は

【丸山】 長野県は自治会長などを女性が務める割合が他県に比べて低く、ジェンダーギャップ指数に大きな課題がある。コミュニティや地域の繋がりを維持するには、これまで男性が務めるべきとされてきた役割を女性も担うなど、固定的性別役割分担意識を変えることが重要だと考えるが、県民に対してどのように啓発事業等を行い、意識改革をしていくのか伺う。

【知事】 本県の自治会長の女性割合は2.5%で、残念ながら全国の7.8%に比べても大

変低い状況。また、固定的性別役割分担意識は県の調査においても依然として残っている結果となっている。若者、女性にとって暮らしやすい、選ばれる地域にしていく上でも、この意識をどう解消していくかは、非常に重要な課題と考える。

これまでも男女共同参画センターにおける講座、研修などの啓発に取り組んできているが、研修だけではなかなか難しいため、市町村や教育委員会の協力により、小さい頃からの教育や、男性自らが積極的に家事・育児への参加をしていく気運を高めていくこと、あるいは職場や地域での意識改革が必要と考えている。

今年度、自治会等の女性役員増加に向けた課題に関する調査等を行い、固定的性別役割分担意識の解消のため「私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議」をはじめ、様々な県民の皆様方との対話の場を通じて性別にかかわらず誰もが暮らしやすい地域社会の実現に向けて取り組んでいく。



「女性活躍の壁」 カッター 丸山寿子

活動記録

【2026年4～6月抜粋】
主催者、地区役員や県民の皆様と懇談し、ご意見を伺いました

4/20(月)	「地域未来戦略講演会」(長野)
4/24(金)	長野県建築士事務所協会松筑支部総会(松本)
4/28(火)	塩尻市スポーツ協会総会
4/30(木)	JA松本ハイランド農協協議会全体会議及び講演会(講師:明治大学教授)
5/9(土)	たのめの里向小野地区イベント/辰野町トビチ商店街視察
5/10(日)	塩尻市ファミリーズボレクフェスティバル大会
5/13(水)	塩尻観光ワインガイド研修(新規ワイン用ブドウ圃場)
5/15(金)	(県)シニア大学入学式(松本)/諏訪大社 上社本宮(議連視察)
5/16(土)	塩尻市社協すみれ・そよ風まつり(障がい者支援施設)
5/17(日)	洗馬地区春季スポーツ交流会/県立歴史館・千曲市森將軍古墳館視察
5/20(水)	篠ノ井線松本地域活性化協議会(安曇野)/塩尻朝日防犯協会連合会総会
5/22(金)	木曽漆器工業協同組合総会(木曽平沢)
5/24(日)	塩尻市ワイナリーフェスタ(平出遺跡公園)
5/29(金)	塩尻市観光協会総会
5/30(土)	塩尻大門商店街ウイングロードコンサート(三味線演奏/街づくり懇談)
6/1(月)	R19号塩尻地区整備促進協議会(国・県・市)
6/2(火)	農政林務委員会現地調査に参加(道の駅 いくさかの里)
6/6(土)～6/7(日)	木曽漆器祭・奈良井宿場祭開祭式(6日)/奈良井宿場祭(7日)
6/8(月)	松本地域振興局管内現地機関との懇談会
6/10(水)	危機管理建設委員会現地視察に参加(①松本平運動公園 ②アルウィン)しおじり若者サポートステーション ポスター デザイン公募・投票
6/11(木)	長野県獣医師会松筑支部懇談会(松本)
6/13(土)	松本圏域障がい者ニュースポーツ交流会/「障がい児者の豊かな性教育」講演会(講師:日本福祉大教授)
6/20(土)	ほとたと音楽のタベ(塩尻東地区)
6/21(日)	塩尻短歌館事業(塩尻短歌の歴史と作者)
6/27(土)	片丘小学校「結いの丘」合唱団&アンバーサリー楽団コンサート

扉を開けて

産業観光企業委員会の初委員会が開かれ、副委員長を拝命しました。所管は産業労働部、労働委員会、観光スポーツ部、企業局です。信州の魅力を県内外に発信し、活気ある住みやすい街づくりにつながるよう努めて参ります。

4月14日



県議会文化財等保護推進議連視察

5月15日



諏訪大社 上社本宮の修復工事を視察しました。神楽殿および天流水舎、勅願殿、勅使殿等は重要文化財に指定されています。特に神楽殿は曳家により、大掛かりな調査と修復工事となっています。(現在第3期工事 令和9年10月までの予定)

5月26～27日

産業観光企業委員会 北信・東信現地調査

長野地域振興局管内の労働情勢や、商工業及び観光振興等について説明を受け、その後北信・東信の現地調査を行いました。

【1日目】 ①長野合同庁舎 ②(一社)発酵バレーNAGANO(8種の発酵食品の取組・長野市) ③(一社)信州千曲観光局(地域資源を生かした観光誘客施策調査) ④菅平小水力発電所(ダム直下での未利用落差活用・上田市)

【2日目】 ⑤松山(株)(農業機械メーカーの農業省力化、生産性向上の取組・上田市) ⑥(一社)浅間リサーチエクステンションセンター(地域産学官連携拠点での産業の高度化、付加価値向上の取組・上田市) ⑦シチズン時計マニファクチャリング(株)ミヨタ佐久工場(ムーブメント中核製造の取組) ⑧軽井沢ブルワリー(株)(プレミアムビール造りの取組・佐久市)



改革信州中信地区現地調査

6月15日



松本振興局管内の現地調査を行いました。
①松本児童相談所(波田) ②綿半ファーム(筑北) ③落石災害現場(里山辺) ④県営かんがい排水事業(波田) 波田学院(波田) ⑤松本家畜保健衛生所(島内)

9月
定例会
日程(予定)

▶9月24日 開会
▶9月29日～9月30日 代表質問及び質疑
▶10月1日～10月6日 一般質問及び質疑
▶10月7日～10月9日 各委員会
▶10月14日 閉会



このチラシは「FSC」森林認証紙を使用しています。